

各事業分野の成長戦略

# ENVIRONMENTAL INFRASTRUCTURE

## 環境インフラ事業分野



執行役員  
環境インフラ営業推進部門長  
西野 真



太陽光発電事業

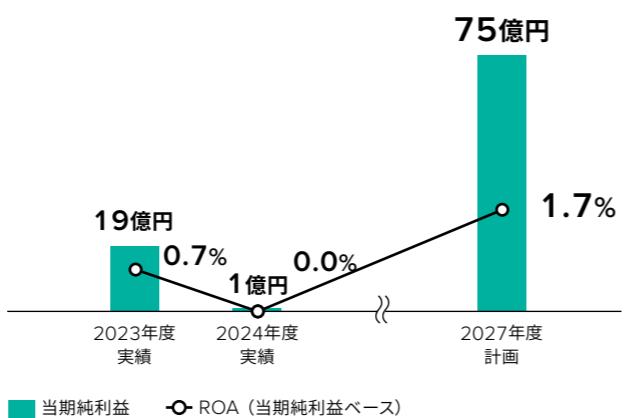


蓄電池事業



海外再生可能エネルギー事業

### 「中期経営計画2027」利益計画



## 環境インフラ事業分野の強みと機会・リスク、成長戦略

### 強み

- FIT開始直後から積み上げてきた太陽光発電ポートフォリオ(約1GW)運用による安定的な収益基盤
- 太陽光発電事業のトラックレコードに基づく高度なアセットマネジメントサービスの提供
- 専門性の高い有力パートナー(京セラ、JFEグループ、クラフティア(旧九電工)など)との連携による優良アセットの積み上げ

### 機会

- 脱炭素社会実現に向けた社会的ニーズの高まり
- デジタル技術革新による電力需要増加
- 補助金など、各国制度・政策による収益機会
- 新たな再生可能エネルギービジネスの普及

### リスク

- 発電事業者の増加に伴う、競争環境の激化
- 市場金利上昇、インフレによるコストの増加
- 地政学リスク・環境政策の変化
- 異常気象の激甚化による被害やコスト上昇

### 成長戦略

- 国内太陽光発電を中心とした既存事業を基盤に蓄電池事業やアセットマネジメントを強化
- 長期保有と資産売却を組み合わせ、安定収益を確保
- 海外においてもパートナー戦略を軸に海外再生可能エネルギー事業を推進
- 系統用蓄電池事業など新領域にも積極的に参画し、グループ全体の環境関連ビジネスを牽引

## 収益性改善へ向けた主な課題と取り組み

### 既存事業のバリューアップ

- コアビジネスである国内太陽光発電事業の基盤強化・拡大
- A&Tmおよびパートナー企業連携によるアセットマネジメント機能の高度化
- 併設型蓄電池事業の拡大による知見蓄積、事業モデルの構築
- 資産回転型ビジネスモデル定着による新規投資と業績の両立

### 新たな事業領域創出(GX・DX含む)

- 系統用蓄電池事業への投資加速・早期運転開始、プロジェクト開発の推進
- 海外再生可能エネルギー事業における、開発段階からの事業参画と資産回転推進
- 成長領域拡大のためのM&A・パートナー戦略推進による機能強化
- 次世代太陽電池(ペロブスカイト、カルコパライト)などの新技術領域へのビジネス展開
- 環境価値創出ビジネスへの取り組み強化

### 人材および組織の強化

- ビジネス環境に対する洞察力と多角的視点を持つ専門人材の育成・獲得
- 環境変化、顧客ニーズ多様化に対応するレジリエントな組織構築
- 組織横断的な環境ビジネスの推進

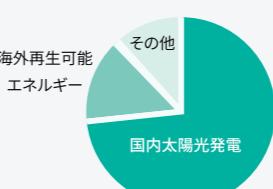
## ポートフォリオのイメージ

### 循環型経済社会実現への貢献と収益機会創出の両立

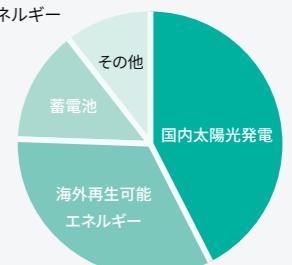
- 強みである国内太陽光発電アセットをベースに、蓄電池や海外再生可能エネルギー事業など主力分野への取り組みを拡大し、変化の激しい環境ビジネスにおいて収益機会を追求
- 新技術・新燃料領域への展開を模索し、ポートフォリオ最適化を推進

### ポートフォリオ(セグメント資産)構成比

※ バイオマス混焼発電事業などを除く再生可能エネルギー



2024年度実績



2027年度計画

### 注力領域

#### 蓄電池および電力取引市場におけるフロントランナーを目指す

- 蓄電池事業および電力取引市場への積極的な参加により、収益極大化とさらなる成長機会を追求
- 再生可能エネルギー利用の最大化および電力系統の安定化に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献
- 市場の黎明期である系統用蓄電池事業への積極的参画によりノウハウを蓄積し、先駆者利益の獲得を目指す

#### 蓄電池および電力取引事業の取り組みについて

